



国事に報ずること

黒田インターナショナル  
黒田 毅

私心を離れ国家に報ずることはその為政の責任である。時代を行い、世界との友好を行う。これは国事が、私事でないからである。

私心を得ずは、国家を為すことなのである。

世界に優れることは、政治がそれを自己とし行うことなのである。

世界に優れた現実を有するためには政治の決定を国家に要求する。

これらは革命を求めると等しいのである。

正しい現実への理解は、正しい判断を可能とする。

これはアメリカに優れる国家構築は可能であるということである。知性の時代は、知性においてそれに優れば、それを可能とするのである。

これらは手工業的現実から、知的生産社会への転換を政治が要求される。これらが、現実における世界における革命的变化の真実なのである。

これは自己に立脚した国家、すなわち依存性から独立への政治転換を、その技術革新とともに要求する。

これは国会と官僚が、自己転換と変化を行うことが国家転換を実現するのである。

これらは既存判断と基準を完全に転換し、新しい国家を可能とするのである。これら自己転換は新しい国家の創造なのである。

宇宙時代という新しい時代は、それら無限の可能性を有するのである。